

『天ヶ瀬ダム再開発事業起工式』 を開催しました

H25. 6. 16

～琵琶湖河川事務所～

琵琶湖周辺や宇治川では、これまで浸水被害が度々発生しています。現在の天ヶ瀬ダムは昭和28年9月台風13号の被害をきっかけに計画され、昭和39年に完成しました。その後、天ヶ瀬ダム再開発事業が「洪水調節機能の強化」「京都府の水道用水の安定的な確保」「発電能力の増強」を目的に計画され、平成元年に建設事業着手しました。この事業では、既設天ヶ瀬ダムの治水・利水の機能を高めるため、トンネル式放流設備によるダム再開発を行います。これまでに計画、調査、設計、工事用道路の整備等を行ってきており、平成25年7月に本体工事の着工を迎えるにあたり、起工式を開催しました。

起工式概要

日時：平成25年6月16日（日）
10:00～11:00
うじ かないど

会場：京都府宇治市宇治金井戸地先（天ヶ瀬ダム再開発事業
トンネル式放流設備ゲート室部予定地付近）

参加人数：式典約130名（国、関係府県・市町、地元区長等）
主催：近畿地方整備局



式典

○多数の来賓や、事業に協力いただいている地域の皆様、事業関係者にご出席いただき、事業の起工式を開催しました。

○谷本近畿地方整備局長による式辞に始まり、金尾水管理・国土保全局河川環境課長の挨拶、琵琶湖河川事務所長による工事概要説明に引き続き、山井衆議院議員、安藤衆議院議員、二之湯参議院議員、岡西京都府副知事、山本宇治市長から祝辞をいただきました。

○式典では、谷本局長から昨年8月の集中豪雨による犠牲者へのお見舞いの後、上下流への治水効果や利水上の効果の説明し、最後に地元の方々や関係者各位への事業協力のお礼を述べられました。

○祝辞の後、式典出席者による鍬入れ及びくす玉開披を行いました。「えい、えい、えい！」という威勢のいいかけ声のもと鍬入れ及びくす玉開披が行なわれ、天ヶ瀬ダム再開発事業における本体着工の起工を祝しました。



広報展示スペース

○式典会場には、事業内容を紹介するため、広報展示スペースを設け、事業紹介パネルや完成イメージを映像化したVRCG(※)の上映やトンネル式放流設備模型を展示しました。多くの出席者から興味を引き付け、好評を得ました。



※VRCG:
バーチャルリアリ
ティコンピュ
ターグラフィック



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 開発工務課
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0844

